

だて復興・再生 ニュース

伊達市

第 16 号

[編集・発行] 伊達市放射能対策課 〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 本庁舎3階 ☎575-1003

●平成26年7月24日発行

放射能からの健康管理について

放射能対策の基本は健康管理であることは異論の無いところです。

このため、市民の健康を守るため、外部被ばくについては「除染」により生活環境の放射線量を下げることと同時に、「ガラスバッジ」によって実際の累積被ばくを管理しているところです。また、内部被ばくについては、食品検査によって、放射能に汚染された食品を食べないように心がけると共に、定期的なホールボディカウンタ(WBC)による検査によって、体の中に放射能が蓄積されているかどうかを調べて、万全を期しているところです。

あの3.11から丸3年が経過し、除染も進みましたが、雨や風、そして何よりも放射能が持つ性質である半減期によって、線量はかなり下がってきているのが現状ですが、生活圏以外はまだ手付かすの状態ですから、外部被ばくについては、家の周りが除染によって線量が低くなったからといって安心は出来ません。その人がどこで行動しているかが問題なのです。

つまり、行動している場所の線量が問題であって、そこが高ければ被ばく量は多くなってしまいますし、高くても十分遮蔽された建物の中にいる場合は大丈夫ということもあります。例えば、強制避難となっている飯館村の特別養護老人ホームは、そのまま居住が認められているのです。

一般に、累積被ばく線量を計るため使われている「ガラスバッジ」は単純に測定するだけですが、新型の「Dシャトル」といわれる累積線量計は、1時間毎に累積線量を記録することが出来ますから、自分の行動記録と突合せることにより、被ばく量がどの場所で多かったのかが分かります。そのため、被ばく量の多かった場所での行動などを制限することにより被ばくを防ぐことが出来ます。

先に試験的に導入したこのDシャトルを、ガラスバッジの計測で年間5ミリシーベルト以上であった市民を対象に着けてもらい、自分の行動に気をつけて頂くことによって、年間5ミリシーベルト以下に出来る目途が立ったので、今回240台に増強し、年間4ミリシーベルト以上の方128人、子どもについては年間2ミリシーベルト以上の98人を対象に取り組み、以後段階的に下げて、ついには年間1ミリシーベルト以下を達成したいと考えております。

WBCについては、ほとんどの市民が問題の無い数値であるためか、3回目に入った今回の受検率が非常に低くて心配しております。内部被ばくは気がつかないことが多いので、当面定期的な検査はぜひ必要です。面倒がらずに受検していただくよう、よろしく願いいたします。

つまるところ、放射能から健康を守ることは、最後は「一人ひとりの個人管理」によるということをお忘れなく頂きたいと思っております。

伊達市長 仁志田 昇司

だて復興・再生最前線

仮設焼却炉の建築を着工

伊達地方衛生処理組合では、構成する伊達市、桑折町、国見町、川俣町で生じた除染廃棄物のうち、草木等の可燃物を焼却し、減容化する仮設焼却炉の整備を伊達市霊山町石田地内で行っています。

7月8日には、工事の安全祈願祭と起工式が行われ、関係者約60名が出席し、組合管理者の仁志田昇司伊達市長、組合議会の佐藤榮三議長などが玉串をささげ、工事の無事を祈りました。また、起工式で仁志田市長は、「復旧、復興に欠かせない除染を加速化するために必要な施設で、伊達市、伊達郡の環境回復に大きな役割を果たす」とあいさつしました。

この仮設焼却炉は、1日当たりの処理能力は130トン、稼働期間は、来年1月から平成31年6月までの4年半で、15万4千トンの処理を計画しています。焼却灰は、敷地内に一時保管し、中間貯蔵施設に搬出します。



仮設焼却炉起工式(伊達地方衛生処理組合)

高性能積算線量計(D-シャトル)をご利用ください

～1時間毎の外部被ばく線量を確認できます～

現在、ガラスバッジによる個人追加被ばく線量測定を実施し、3ヵ月ごとの実測値をお知らせしていますが、高性能積算線量計は、より詳細に測定できます。これを利用することにより、自分の行動の中での外部被ばく線量の低減に役立てることが出来ます。

測定を希望なさる方は、お申し込みください。

●高性能積算線量計(D-シャトル)

高性能積算線量計は、1時間毎の積算線量をグラフ化し、これに行動記録を照らし合わせることで、線量と行動の関係を把握することができます。これにより、年間の測定値(ガラスバッジ実測値)が自分のどのような行動で積算されてきたかを確認できます。



高性能積算線量計(D-シャトル) ※数値は表示されません。



●行動記録

グラフ化された結果と見比べるため、測定期間中の行動を記録していただきます。

記入例 行動記録票 線量計番号: 1

① 主な生活パターンを記入してください(自宅以外)

A	会社	B	スーパー	C	火葬	D		E
---	----	---	------	---	----	---	--	---

② 上記①の生活パターンA～Eを、時間帯に合わせて、記入してください。それ以外の場合は、行動内容を記入してください。

月日	午前				午後			
	6	12	18	24	6	12	18	24
8/6		A					B	
8/7	A			00:07 休務				
8/8		A					B	
8/9		散歩	病院		C			
8/10					00:00 08	ショッピング		

●測定方法

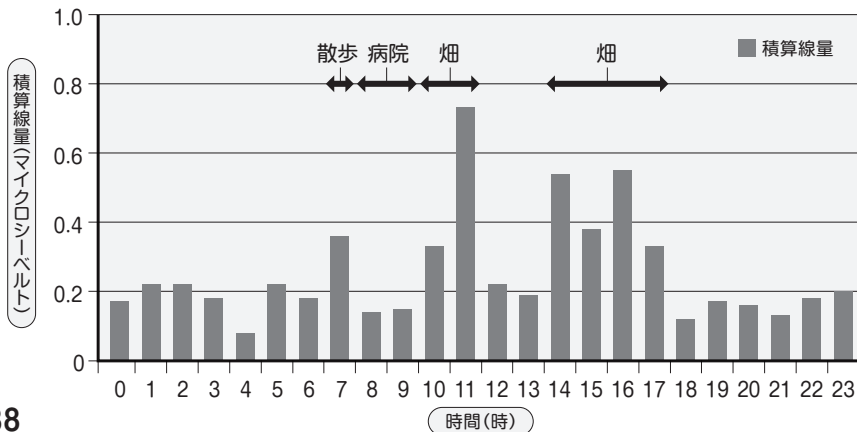
- 測定期間:原則2週間
- 着用方法:ガラスバッジと同じように、首にかけてください。

●申込方法

- 電話、窓口にて申込みください。
- 配布・返却先:保原保健センター
(保原町大泉字大地内100)

●結果グラフのイメージ(1日の時間ごと)

【例】8月9日の測定データ



問 健康福祉部 健康推進課 ☎573-0538

伊達放射能健康相談窓口

放射線・放射能の不安などありましたら、ご相談ください。

実施日	時間	場所・連絡先
8月12日(火)	9:30～ 11:30	保原保健センター ☎575-1153 保原町大泉字大地内100
8月19日(火)		出張相談も行っています
8月26日(火)		●予約制となります



◎相談員/放射線安全フォーラム会員
半谷 輝己さん

※医学的なことは医師の相談会にご案内する場合があります。

問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

ホールボディカウンタ(WBC)検査の受検案内について

現在、伊達市民を対象に、地区分けをして年3回(4月、7月、10月)案内通知を発送しています。通知が届いた方は、積極的に受検をお願いします。また、通知が届いていない方(10月通知予定)でも早めに受検できますので、希望する検査機関へお問い合わせください。

※7月末で案内期間が終わってしまう未受検の方も、8月以降でも受検することができます。

検査機関予約・お問合せ先	検査実施時間と受付体制	お盆期間中検査お休みの日
中野病院 ☎573-0561 ※予約なし受検可能(予約者優先)	月、水、金曜日／18:00まで 火、木曜日／16:00まで	8月15日(金)
梁川病院 ☎527-0015 ※予約なし受検可能(予約者優先)	月～金曜日／16:30まで ※月曜日午前中は休み 土曜日／12:00まで	8月15日(金)・16日(土)
福島県労働保健センター(福島市) ☎554-5195 ※完全予約制。不定期休館日あり。	月～金曜日／18:00まで 毎月2回土曜日／11:30まで 毎月2回日曜日／14:30まで	8月10日(日)～16日(土)

● 県外での検査実施について

福島県では、避難者等を対象に県外でもホールボディカウンタ検査を実施しています。

[問い合わせ先] 福島県県民健康調査課 ☎024-521-8028 [福島県HP] <https://www.pref.fukushima.lg.jp/>

● 転入者・転出者・里帰り出産等の方へ

平成23年3月12日以降の転出者や平成26年4月2日以降の転入者、里帰り出産等の母子で受検を希望される方は、受検できる場合があります。詳細は健康推進課へお問い合わせください。

ホールボディカウンタ検査により内部被ばくの状況を確認しましょう

伊達市民を対象に実施してきたホールボディカウンタ検査で、第1回目と第2回目のセシウム検出者の割合を比較すると1/3程度に減少したことが確認されています。(1回目約9%、2回目約3%)

※検出された値を例に、預託実効線量に換算すると

$$\left(\begin{array}{c} \text{セシウム134が1,000ベクレル} \\ + \\ \text{セシウム137が2,000ベクレル} \end{array} \right) \text{検出の場合} \rightarrow \text{預託実効線量は0.122mSvになります。}(18歳以上の場合)$$

1mSvと比較しても10分の1程度の値となりますが、検査結果は日々の食生活の状況により異なります。

年1回のホールボディカウンタ検査により内部被ばくの状況を確認しましょう。

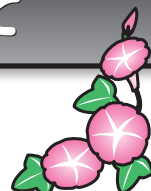


問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

応急仮設住宅、借上げ住宅の期間延長について

現在お住まいの応急仮設住宅・借上げ住宅について、

入居期間が1年延長され、**平成28年3月末まで**になりました。※新規の受付は終了しています。



問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1126

上小国地区水道施設整備事業、今年度より着手

上小国地区の生活用水等に関する放射能不安を解消し、避難された方の早期帰還、及び地域の復興再生を図るため、昨年度より拡張計画を進めていた上水道施設整備事業について、いよいよ7月から工事に着手することになりました。今年度はポンプ場建設と送配水管布設約800mを実施します。また、残りの区間は来年度実施する計画となっています。

- 総事業費：約5億9千4百万円（内2/3は復興庁からの福島再生加速化交付金で充当されます。）
- 整備内容：平成26年度
 - 加圧ポンプ場設置
 - 送水管 340m
 - 配水管 470m など
- 平成27年度
 - 配水管 3,950m
 - 配水支管 1,050m など



問 上下水道部 施設工事課 ☎577-1139

浮島環境大臣政務官が保原高校美術部訪問 ～仮置き場にかける絵画制作を手伝い～

保原高校美術部では、「がれきに花を咲かせようプロジェクト」の一環として、現在、仮置き場に掲示する絵画の新作を制作しています。空をテーマに、みんなが笑顔になれるような絵にしたと話すのは、デザインを担当した2年生の豊岡つかささん。地球の上で、さまざまな動物や人々が手を繋ぎ微笑んでいる構図です。

7月15日、浮島智子環境大臣政務官が同校を訪れ、震災により建て直された校舎の美術室で、絵画制作を手伝いました。「緊張する」と言いながら丁寧に筆を運ぶ浮島政務官でしたが、時に部員たちと笑い合いながらピンクの花の部分仕上げました。制作の手伝いを終えた浮島政務官は「一緒に制作し、話げたことで、子どもたちの将来に向かう夢や、負



部員と会話しながら制作を手伝う浮島政務官(右)。



制作中の絵画の前に、笑顔での集合写真。

けないで前進していくなだという気持ちを感じました。逆に、私たちが子どもたち以上に頑張っていかなければいけないという決意を新たにしました」と話しました。

この絵画は、8月下旬、市内仮置き場に掲示される予定です。

市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定) (単位:マイクロシーベルト/時間)

測定地点	7/14	7/7	6/30
伊達総合支所 正面駐車場	0.19	0.19	0.18
梁川総合支所 正面銅像前	0.16	0.18	0.16
保原本庁舎 正面駐車場※	0.23	0.24	0.23
富成郵便局 県道路肩	0.22	0.23	0.21
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.50	0.54	0.51
富成グリーンタウン タウン内公園	0.37	0.36	0.36
富成十区集会所 入口	0.60	0.63	0.59
霊山総合支所 駐車場	0.21	0.22	0.21
霊山パーキング 駐車場中央※	0.29	0.29	0.29
坂ノ上集会所 入口	0.40	0.39	0.41
八木平バス停留所 回転場中央	0.28	0.27	0.30
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.29	0.28	0.27

測定地点	7/14	7/7	6/30
下小国中央集会所 入口※	0.34	0.34	0.33
岩代小国郵便局 国道路肩	0.24	0.24	0.25
末坂バス停留所 県道路肩	0.44	0.46	0.43
大木バス停留所 県道路肩	0.20	0.23	0.22
月舘総合支所 駐車場	0.20	0.16	0.16
国道399号飯舘村境 国道路肩	0.48	0.50	0.45
月舘相葎公民館 県道路肩	0.55	0.55	0.54
掛田上組集会所 市道路肩	0.33	0.35	0.33
掛田日向前団地 集会所前	0.28	0.28	0.29
県道臼石月舘線飯舘村境 県道路肩	1.41	1.36	1.32
大柳字栃窪 市道路肩	0.40	0.42	0.38

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003